

## ミツバチの巣分かれ（分蜂）について

分蜂とは、

巣が手狭になった際に新女王蜂を元の巣に残し、半数ほどの働き蜂と古い女王蜂が新しい営巣場所へ移動すること。

春から夏の天気が高く、気温が高い日に発生しやすい。



- ◎巣を出た蜂は、近くの木などに一時集合し、塊（写真）を作ることがあります。
- ◎この塊は、引っ越しの最中に、次の住処が見つかるまで待機しているだけなので、一定の時間（数時間～1週間と状況により様々）をおくと自然に飛んでいきます。
- ◎ただし、周囲に巣を作りそうな箱などがある場合は、営巣をする可能性があるので、片付けて営巣を防いで下さい。
- ◎分蜂を行う蜂は、お腹いっぱいに蜜を蓄えているので、不用意に蜂を刺激したり、つぶさない限り刺すことはほとんどありません。

**ミツバチは巣などに危険を感じると刺すこともある虫ですが、花粉を媒介するなど自然界のなかで重要な役割を持っています。**

**分蜂はミツバチが群れを増やしていくための重要な行動の1つです。**

**そのようなミツバチの生態を理解し、新しい営巣先へ移動するまで、そっと見守っていただきますようお願いいたします。**